

アルペ記述読解教室

学習成果発表会

2021

～2021年の開催の様子をご紹介します～



学習成果発表会とは

- ☆10年の歴史を持つ、アルペの伝統行事です。
- ☆プレゼン、暗唱、スピーチ、作文など、4～5部門を開催します。
- ☆通常授業や特別講座にて、準備をして挑戦します。
- ☆優秀な発表には最優秀賞をはじめとする賞が送られます。

発表会の理念

アルペ記述読解教室では、「**“真の国語力”**を身に付けてほしい」という想いから、**未来につながる学び**をテーマとしています。

日々の学習を通じて身に付けた**“テストでは測れない豊かな国語力”**を発表する場として設けたのが、「**学習成果発表会**」です。

日々の学びの**集大成の場**であるとともに、共に学ぶ仲間の発表から刺激を受けて高め合い、さらなる学びの**ヒント**を得る場であってほしいと思っています。



アルペ記述読解教室 塾長 **高木 恭子**

プレゼン部門

プレゼン部門とは

興味を持った時事問題について、スライドを用いて、自分の調べたこと・考えたことを、発表する部門。

プレゼン部門に込めた想い

☆調べたこと・考えたことを周囲に伝える「プレゼン力」は、非常に重要な力。社会に出てからも必要な生きる力である。

☆自分で決めた題材を、調べて、まとめて、発表するという経験を通じて、思考力の面でも精神力の面でも、大きく成長してもらいたい。



実際のスライド



準備の進め方

※特別講座も開講し、準備を進めます。

- ①扱う題材を決め、自分で詳しく調べ学習する。
- ②調べたことを基に、自分なりの意見をまとめる
- ③調べたこと・考えたことを、スライドにまとめる(PPTを使用)
- ④講師の指導の下、声の抑揚やスライドを変える
タイミングにまでこだわって、発表練習を進める

暗唱部門

暗唱部門とは

詩や古文、漢文といった素晴らしい文学作品を多数収録した「アルペ暗唱文集」から、自分の好きな作品を選び、暗唱発表する部門。

暗唱部門に込めた想い

- ☆暗唱は、語彙力/暗記力/表現力といった国語学習の土台を身に付けるのに最適な学びである。
- ☆学年や学力に関係なく参加できるため、学びの入り口としてもチャレンジしやすい。
- ☆お客さんの前で、自分の好きな作品を発表することで、自信を深めることができる。
- ☆文化教養を磨くことができる。

準備の進め方

- ①暗唱文集の中から好きな作品を1つ選ぶ
- ②選んだ作品を、きちんと暗記する
- ③講師の指導の下、声の大きさから抑揚の付け方、スピード感といった細部にまでこだわって、練習を進める

2021年に入賞した作品

スピーチ部門

金賞

「ここが変だよ！昔話」

銀賞

「ゴミから作るエネルギー」

銅賞

「コロナ禍ならではの進化！人がいない！」

暗唱部門

金賞

「君死にたまふことなかれ」 与謝野晶子

銀賞

「信じる」谷川俊太郎

「生きる」谷川俊太郎

銅賞

「落葉松」北原白秋

「花のき村と盗人たち」新美南吉

スピーチ部門

スピーチ部門とは

決められた題材に対して、“原稿を持たずに”
自分の考えを発表する部門

スピーチ部門に込めた想い

☆自分の考えを、相手の心の琴線に触れるような言葉を選びながら伝える力は、スピーチを通じてこそ身につくものである。

☆トレーニングすることで話し方はみるみる上達できる。

☆自分の言葉で「伝える力」を、今後の日本を背負って立つ子どもたちに身に付けてほしい。



発表タイトル「幸せのために」

準備の進め方

- ①決められた題材について、原稿を書く
- ②講師の添削を受け、原稿を頭に入れる
- ③講師の指導の下、表情や細かい表現にまでこだわって、練習を進める

2021年の題材:「心に残った言葉」



作文部門

作文部門とは

決められた題材に対して書いた作文を、
原稿を持ちながら、発表する部門

作文部門に込めた想い

☆アルペで年間50枚近く作文を書き、磨き上げてきた作文力に自信をつけてほしい。
☆家族や友達への感謝など、普段なかなか言葉にしづらい想いを、作文を通じて伝えてもらいたい。

☆思いをこめた作文を素敵な発声で読めるようになってほしい。

準備の進め方

- ①決められた題材で作文を書く
- ②講師の添削を受け、作文を書き直す
- ③講師の指導の下、声の抑揚やスピード感にまでこだわって、練習を重ねる

昨年の金賞作品

怖がりのわたしにできるかな 小3女子

私の将来の夢は、医者になる事です。私の母は、かんどしです。私は、母がかんどしとして、たよられてる所を多く見て育ちました。だから私も、医りよう関係の仕事について多くの人を助けたいと思っています。

私が、母をとてそんなけいするきうかけとなった出来事があります。それは、ようち園の親友の妹がレストランで、ウインナーを、のどにつまらせた事です。まわりの人がきゆうきゆう車をよぶかまよっていたら、母がその子をかかえ上げました。そして、せなかをバンバンたたき、ウインナーを出しました。すると心配そうに見ていたお客さんたちからはくしゅがおこりました。知らない人にもほめられる母をとてそんなけいしました。けれど私は、その時こわがつて、ただみているだけでした。

だから、たくさん勉強して、医者になりたいです。そして、母といっしょに、私が建てた病院で、どんな時もれいせいに、たくさんの人を助けたいです。だから母には、長生きしてほしいです。

2021 発表会を観覧して下さった保護者の感想

保護者①

緊張感ある、とても立派な発表会でした。あのようなステージから客席に向けてスピーチやプレゼンを行う機会はなかなかなく、貴重な経験をさせていただきました。

保護者②

緊張した面持ちで発表に臨むわが子の普段は見られない姿を見ることができ、親としてはとてもありがたく思いました。

保護者③

人前で発表することで自信がつくとともに、お友達の発表から、どういふ発表の仕方なら、相手の気持ちに響くかを感じ、学ぶ機会になりました。

生徒の感想

小4 女子(プレゼン・暗唱部門 出場)

緊張していたので、その時の記憶はありませんが、言い間違えをしてしまい悔しかったです。そして、もう少し抑揚を付け、はっきりと大きな声で、気持ちを込めて発表したかったです。

小3 女子(暗唱・スピーチ部門 出場)

少し間違えてしまったので、悔しかった。次はきちんと発表できるように、たくさん練習したい。

小3 女子(暗唱・作文部門 出場)

ステージに立つと、目の前にたくさんのお客さんがいました。すると、今まで個の発表会のために準備してきた事が一瞬のうちに思い出されて、とても緊張しました。しかし、「楽しみ」という思いもありました。